

病気になっても働き続けられる  
職場づくりをサポートします！

治療と仕事の両立支援



～がん、脳卒中、心疾患、糖尿病、肝疾患、難病、メンタルヘルス不調など～

ご相談は  
お気軽に

治療と仕事の両立支援に関する相談に、電話・メール・面談等により対応します。

セミナー・  
研修の実施

両立支援の普及・啓発を目的とした事業者等を対象とするセミナーを実施します。

個別訪問支援

両立支援に精通したスタッフが事業場を訪問し、社内制度の整備、就業規則の見直し、進め方についての助言等、両立支援制度の導入をサポートします。

個別調整支援

患者さんを中心に医療機関・事業場との間で情報共有、仲介、調整支援、両立支援プランの作成等について助言・支援をします。

お気軽にご相談ください

無料



独立行政法人 労働者健康安全機構  
Japan Organization of Occupational Health and Safety

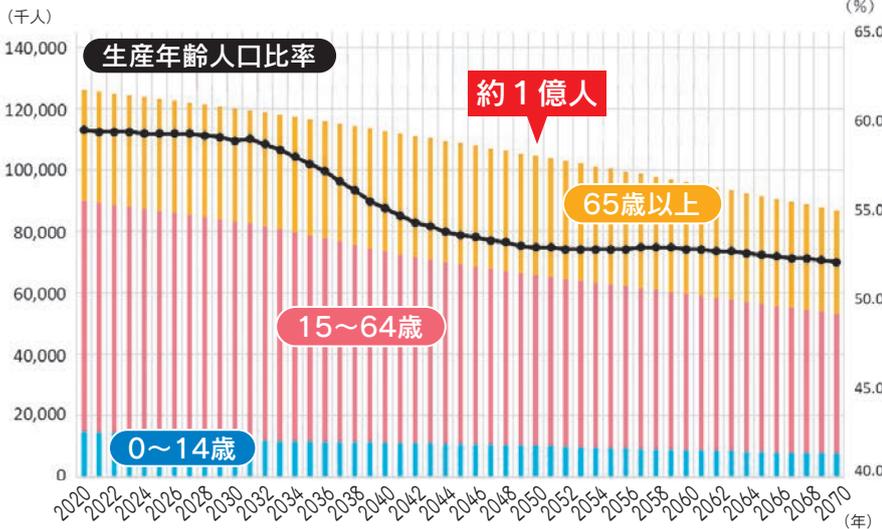
岩手産業保健総合支援センター



# 治療と仕事の両立支援をめぐる状況

## 日本の将来人口予想

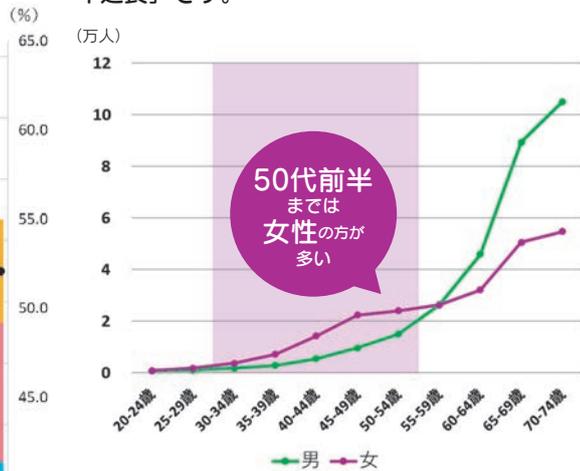
日本の人口は2050年には約1億人まで減少する見込みです。今後、高齢化の進行に伴い労働力が減少すると、あらゆる産業で人材不足を引き起こし、従業員の採用競争が激化することが予想されます。



※出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」より

## 男女の年代別がん罹患数(2018年)

今後、企業で働くがん患者は増えていきます。その理由の一つは「女性の社会進出」と「定年延長」です。

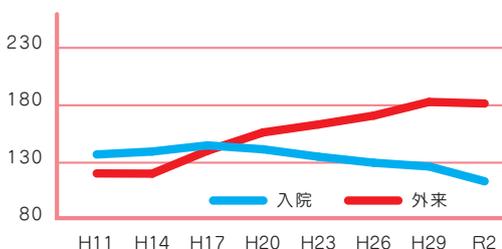


※出典：厚生労働省「平成30年全国がん登録罹患数・率報告」より(20~64歳を抜粋)

## 入院日数の短縮化と通院治療へのシフト

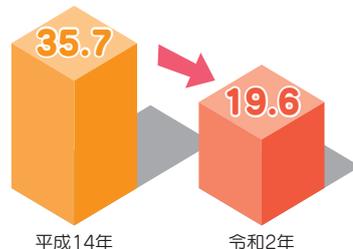
がん患者の平均入院日数は短くなっている一方で、外来通院しながら治療を受ける患者が増えています。それと共に、治療の副作用や症状をコントロールしながら仕事を続ける方が増えています。

■入院患者・外来患者数の推移(千人)



※出典：厚生労働省「悪性新生物(がん)の入院患者・外来患者数(令和2年患者調査より)」

■在院日数の推移(日)

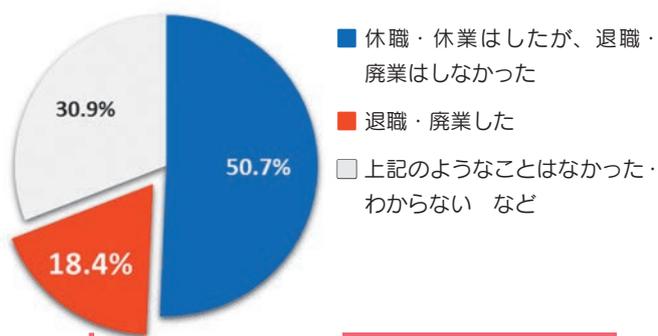


※出典：厚生労働省「悪性新生物(がん)の退院患者における平均在院日数(病院・一般診療所)(令和2年患者調査より)」

## がん患者の就労の状況

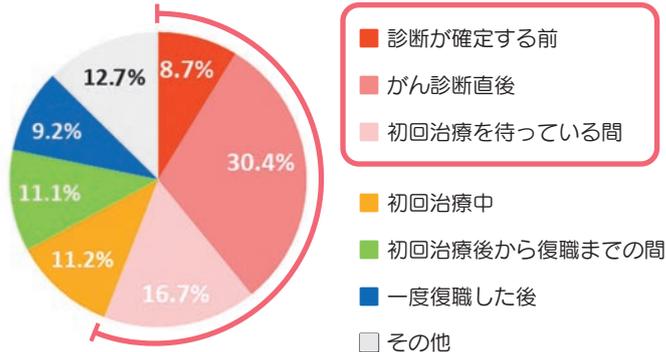
がんと診断を受けて、退職・廃業した人は就労者の18.4%を占めており、その内の半数以上(55.8%)の方が治療開始前に離職(びっくり離職)をしています。

### ▼がん診断後の就労への影響



治療開始前に離職  
55.8%

### ▼退職のタイミング



※出典：患者体験調査報告書令和5年度調査(速報版)より

# 治療と仕事の両立ができる職場環境の整備

## 職場の支援制度を見直しましょう

治療と仕事の両立のために患者（労働者）が必要としている制度は、労働時間を短縮できる、時差出勤、在宅勤務など、治療や体調に合わせて時間・場所が柔軟に選択できること、また失効年次有給休暇積立の様な、病気やケガ・育児・介護と仕事の両立を図れる支援制度を希望しています。



■治療と仕事の両立のために利用可能であった制度／利用したい制度（複数回答）

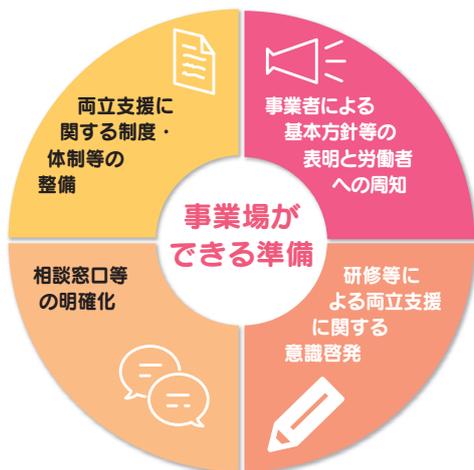
現在利用可能な制度 (n=425)

あれば利用したい制度 (n=425)

33.4	時差出勤制度	28.2
29.9	所定労働時間を短縮する制度	32.7
28.2	時間単位の休暇制度	26.1
18.4	失効年次有給休暇の積立制度	28.0
17.2	フレックスタイム制度	20.9
15.8	試し出勤制度	24.7
9.9	在宅勤務制度	28.0

※出典：平成31年3月東京都福祉保健局「東京都がん医療等に係る実態調査結果（がん患者の就労等に関する実態調査）」

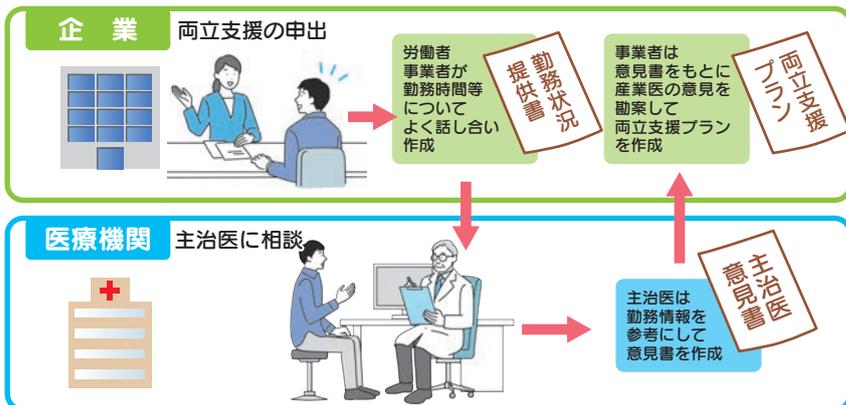
## 両立支援を行うためのポイント



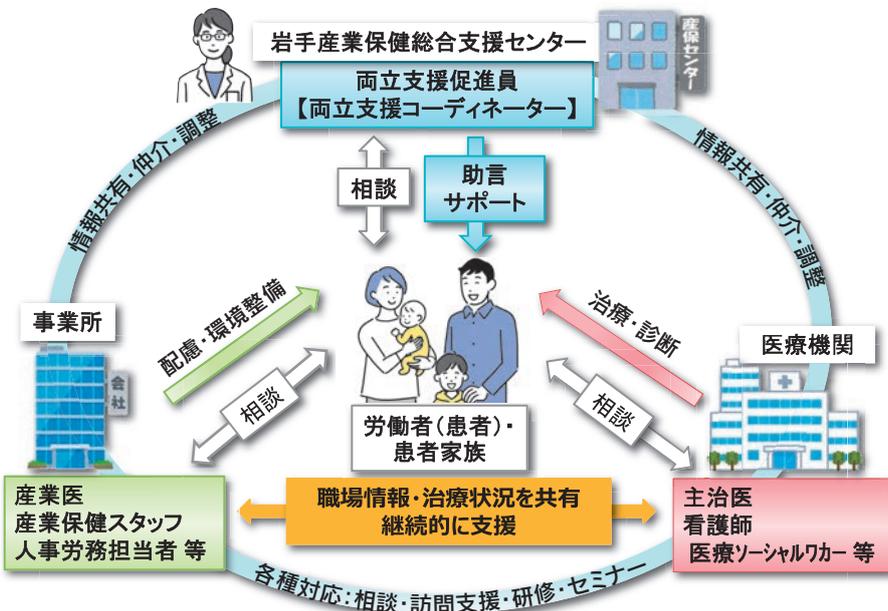
両立支援の検討は働く人の申出からスタートします

両立支援は職場の健康経営の取り組みのひとつです！

## ◎企業・医療機関における両立支援のための情報のやりとり◎



## 産保センターの支援サービスを利用し、両立支援を進めましょう



Pick Up!



厚生労働省では、治療と仕事の両立支援ガイドラインを公表しています。事業場で両立支援を行う上で参考となります。

# 治療と仕事の両立支援申込書

岩手産業保健総合支援センター

TEL: 019-621-5366

令和 年 月 日

事業場名								
業種	事業内容	労働者数	人					
所在地	〒							
	TEL	FAX						
担当者 相談者	部署名	氏名						
	E-mail							
	職種	<input type="checkbox"/> 産業医	<input type="checkbox"/> 保健師・看護師	<input type="checkbox"/> 事業主				
		<input type="checkbox"/> 労務管理担当	<input type="checkbox"/> 衛生管理者	<input type="checkbox"/> 労働者（患者）				
		<input type="checkbox"/> その他（ ）						
訪問希望日	第1希望	年	月	日（ ）	時	分～	時	分
	第2希望	年	月	日（ ）	時	分～	時	分

希望する支援内容  にチェックを入れ、希望する番号に○印を付けてください。

個別訪問支援

※両立支援に精通したスタッフが事業場を訪問し、両立支援に関する制度の導入についてアドバイスします。

- 1 治療と仕事の両立への理解を促す教育の実施（衛生委員会での啓発教育も実施します）
- 2 休暇制度、勤務制度の導入への助言・支援等
- 3 両立支援の対応手順、関係者の役割の整理についての助言・支援等
- 4 その他（具体的に： ）

個別調整支援（ご本人の同意が必要）

※事業場と労働者（患者）間の、治療と仕事の両立についてアドバイスします。

- 1 労働者（患者）との治療に対する配慮の検討
- 2 両立支援の進め方
- 3 両立支援プランの作成
- 4 職場復帰支援プランの作成
- 5 主治医等への相談
- 6 就業上の措置についての検討
- 7 その他（ ）

啓発セミナー・研修の実施（講師を派遣し研修を実施します） 【参加予定数： 名】

- ・対象者：
- ・内容：

※ガイドライン等の普及・啓発を目的とした研修です。※事業者等の参集する「研修会」等に無料で講師を派遣します。

## 医療機関で、両立支援出張相談窓口も開設しています！

医療機関相談窓口	相談日時	予約先・問合せ先
岩手医科大学付属病院 患者サポートセンター	第3火曜日/13:00~16:00 ※随時対応(要相談)	019-613-7111
内丸メディカルセンター 患者サポートセンター	随時対応(要相談)	019-613-6111
岩手県立胆沢病院 医療情報コーナー	第4火曜日/11:30~14:00 ※随時対応(要相談)	0197-24-4121
岩手県立磐井病院 患者支援センター	第3月曜日/11:30~14:00 ※随時対応(要相談)	0191-23-3452
岩手県立中部病院 えくなるプラザ	第3水曜日/10:00~12:30 ※随時対応(要相談)	0197-71-1511



お気軽に  
お電話ください  
相談聞くゾウ~



【申込先】独立行政法人労働者健康安全機構 岩手産業保健総合支援センター

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2丁目9番1号マリオス14階

TEL: 019-621-5366 FAX: 019-621-5367

HP: <https://www.iwates.johas.go.jp>

メール: [iwate@iwates.johas.go.jp](mailto:iwate@iwates.johas.go.jp)

※本書はホームページ各種申込からもダウンロードできます。メール・FAX等でご送信下さい。

※当センターから訪問日について調整のため、ご連絡いたします。

※ご記入いただいた個人情報、産業保健活動総合支援事業の目的以外には使用いたしません。

(R6.10作成)